

研究構想シート		学校名	出雲市立神戸川小学校
		氏名	多久和雅俊
A 研究主題	「主体的・対話的で深い学び」の視点から、授業力向上をめざして ～ICT機器を効果的に活用した授業づくりについて探る～		
B 研究の目的	①「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を図り、教師の授業力向上につなげる。 ②児童一人一人の学力向上につなげる。 ③授業における、ICT機器の効果的な活用方法について探る。		
C 子どもの実態 ・国語科における課題として、「書くこと」「読むこと」「活用」が挙げられる。 ・算数科における課題として、「図形の性質や計量についての考察」「変化と関係」「式や言葉を用いての記述」が挙げられる。 ・ICTの活用状況・活用スキルに児童間で差が見られる。	E 手立て・内容（研究仮説） ・学習場面において、各教科で育成したい「資質・能力」を明確にし、「主体的・対話的で深い学び」のある授業の中にICT機器を効果的に活用していくことで、授業や単元でめざす児童像にせまり、児童一人一人の「資質・能力」を育成することができるだろう。 ※授業や単元を通して育成をめざす児童の姿（授業後の児童の姿）にせまるために、「主体的な学びの場面」「対話的な学びの場面」「深い学びの場面」のどの場面においてICTを活用するのが効果的なのか、授業実践を通して検証していく。	D めざす子どもの姿 【主体的な学び】 ・見通しをもって、粘り強く学習や課題に取り組もうとする。 ・自らの学びをふり返り、次の学びや実生活に生かそうとする。 【対話的な学び】 ・周りの人たちと共に考え、新しい発見や、豊かな発想を生み出し、自己の考えを広げ深めている。 【深い学び】 ・学びがつながり、深く理解したり、自分の考えを構造的、論理的に形成したりできる。 ・問題を見出し、解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりできる児童。	
	F 検証方法 ①児童アンケート・教職員アンケート ②研究授業（学年で1授業の公開） ③児童観察・ワークシート等		
	G 研究計画 ①ICT機器の授業での活用場面・活用方法の収集・共有と発信 ②効果的だったICTの実践の紹介・積み上げ ③訪問指導による研究授業 ④ICTの活用にかかわるミニ研修の実施 ⑤情報活用能力の系統表の作成 ⑥タブレットの家庭への持ち帰りの推進（ルールの明確化） ⑦授業づくりにおける、授業構想シートの活用推進 ⑧研究授業・研究協議の充実化		